

のばそう！健康寿命担おう！地域づくりを

第6回仙北市老人クラブ大会



かくろう女声合唱団「さくらハーモニー」によるコーラス（写真上）。このほかにも西木マロンの会や田沢湖地区老人クラブ連合会女性部による踊り（写真下）などが披露されました。



11月17日、第6回仙北市老人クラブ大会が角館交流センターで開催され、市内老人クラブの会員や関係者が参加しました。

第1部の式典では、老人クラブの育成と発展に貢献された6個人3団体が表彰。熊谷勇一郎会長は「健康で集まることができてうれしく思う。これからも自分の健康を守り、近所の人と仲よくし、年齢を重ねていけたら」とあいさつしました。

第2部は、曹洞宗玉林寺の齋藤昭道住職による「心をたもつヒント」

「コロナの時代に生きるために」と題した講演。「人の悲しみ、苦しみに寄り添っていますか」と問いかけ、「コロナ禍のこれからは人の心のありようが問われる。人の苦しみ悲しみに心を寄せ、感染した人を責めない優しい心を持ち続けましょう」とお話がありました。

大会の最後は、日頃からいきいきと活動している老人クラブの会員によるコーラスや踊りが披露され、会場は大きな拍手に包まれました。

- 仙北市老人クラブ連合会
会長表彰（敬称略）
- ◆老人クラブ育成功労者
田中司（田沢湖）
戸澤幹夫（角館）
鈴木重憲（西木）
 - ◆優良老人クラブ
卒田もみじ会（田沢湖）
広久内寿会（角館）
福寿会老人クラブ（西木）
 - ◆老人クラブ育成従事者
藤澤忠夫（田沢湖）
千葉弘子（角館）
伊藤クメ（西木）
- 感謝状
前仙北市老人クラブ連合会会長 藤原剛



高橋長寿支援課長（右）から工子さん（中央）に手渡されました。

（百寿）
おめでとし
いびくま

11月17日、柴田リエ子さん（田沢湖田沢）が100歳の誕生日を迎えられ、特別養護老人ホームたざわこ清眺苑でお祝いが行われました。

当日は、家族の皆さんが集まり、仙北市からお祝いと花束が贈呈されました。

寸劇「火滅の刃」で火災時の対応学ぶ

11月16日、にこにこども園で、避難訓練が実施され、園児ら88人が火災時の避難経路の確認や角館消防署西木分署の消防士による寸劇を通して、命を守る行動を学びました。

避難訓練は、調理室からの火災を想定して職員「火事です！」の呼びかけから開始。各組の先生が園児たちを外に誘導し、園舎向かいのグラウンドの一面に集合しました。落ち着いて冷静に避難した園児たちに消防士も感心した様子。その後、水消火器の使用方法について指導を受けた先生方が、実際にのに向かって水を噴射してみました。

後半は、人気アニメ「鬼滅の刃」をモチーフにした寸劇が披露され、火災が発生した場合の対応方法を学びました。

「火滅の刃」と題した寸劇は、発案から内容の構成、配役まですべて同分署の署員によるもの。アニメの主人公と同じ模様の羽織を着た消防士が、火事に見立てた赤鬼と戦い、自分の衣服に燃え移った火を転がって消す方法などを劇中で実演しました。園児たちは、戦う様子を見て興奮さみでしたが、主人公が呼びかけると一緒に転がって同



赤鬼に襲われ、主人公が衣服に移った火を転がって消す動きを一緒に体験する園児たち。

じ動きを体験。劇の最後に鬼が逃げていくと歓声が上がりました。

八柳彩音ちゃんは「劇が面白かった。火事が起きたらちゃんとやりたい」と話しました。また、同分署予防警防主査の今野豪消防士長は「寸劇は、子どもたちにも興味を持ってもらうように企画した。防火防災意識の底上げにならしていきたい」と話しました。



慌てず、騒がずみんな上手に避難できました。

角館消防署から

10年経ったら交換しましょう

にこにこども園を訪問して、「鬼滅の刃」を模した防火寸劇を行い、子どもたちから「火遊びは絶対にしない」と約束してもらいました。これから冬本番!! 暖房器具などの取扱いに注意して火災予防にご協力ください。また、ご家庭の住宅用火災警報器を点検し、作動するかご確認ください。

【問合せ】角館消防署 予防班 ☎ 54-2302

住警器を設置しよう
定期点検



火に見立てた的を狙って消火！火災時は、冷静な行動が求められます。



交通事故防止に有効な反射材が寄贈されました。

自動車は早めの**ライト点灯**を！
歩行者は**反射材**の利用を！



実際に車のライトをあて、夕暮れ時の服の色による見え方の違いを確認しました。

夕暮れ時は要注意！ 明るい服装と反射材！ 田沢湖地区の皆さんへ 反射材を

11月18日、仙北市安全運転管理者協会田沢湖支部が田沢湖交番へ反射材500枚を寄贈しました。この反射材は田沢湖地区の交通事故防止活動に活用されます。

同日の薄暗くなってきた時間には生保内中学校駐車場を会場に、地元住民や老人クラブ会員、交通安全協会会員などが集まり、服の色による見え方の違いや反射材の効果を体験しました。歩いていてライトが自分にあたってはいるから大丈夫と思っても、運転手には見えていない夕暮れ時や夜間。気の抜けやすい自宅周辺での交通事故が多

いそうです。

参加者からは「赤色の服でも見えづらい」「反射材がないと見えない」などの声が上ががり、見えづらさを実感しているようでした。

同協会の高山典仁支部長は「絶対事故にあわないで。今日聞いたことを家族や近所の人に広めてほしい」と話しました。

指導にあたった仙北警察署交通課の川嶋政義係長は「自分を守るため、相手にわからせるために恥ずかしがらずに明るい服と反射材を使って」と交通事故防止を呼びかけました。

武蔵野児童公園のイルミネーション あたりを色とりどりに染める



約1万個の電球が幻想的な世界を作り出します。

毎年恒例となった、武蔵野児童公園のイルミネーションが今年も点灯されています。

このイルミネーションは、武蔵野下四町内会（佐々木保幸会長）が生保内地域運営体の協力を得て、地域の活性化と地域住民の憩いの場をつくるなどの思いで実施しているものです。

武蔵野下四町内とイルミネーション飾り隊の皆さんによって、11月27日から準備をはじめ、28日にはツリーや約1万個の発光ダイオード（LED）電球が飾り付けられました。

取材に訪れた日には、車を止めたり、写真を撮る人などが訪れていました。これからクリスマスや年末年始などが控え、より一層雪に映えるイルミネーションをご覧ください。

点灯は来年1月10日まで、時間は17時～22時までです。



11月18日
100%LOCAL
FRESH

学校給食に 仙北市産牛肉登場！

11月18日、仙北市産黒毛和牛を使用した「牛丼煮」が学校給食で提供されました。

仙北市産牛肉は、肉質がやわらかくジュシーでうまみたっぷり。子どもたちは、ごはんのせて牛丼にして美味しく食べていました。神代小学校の藤川煌さん（4年）は「一番好きな食べ物の牛丼が給食に出てうれしい。しかも肉がめっちゃやわらかくて美味しい」と話してくれました。



みんな美味しくて箸が止まりません。

た。ほかに、「肉が溶ける感じがする」「お家のより美味しい」などの声が聞かれました。

この日の給食は、仙北市産の小松菜、にんじん、ねぎが入ったみそ汁、秋田県産のりんごを使用したりんごゼリーとあわせて地産地消メニューとして提供され、子どもたちは、終始笑顔で地元の食材を味わっていました。



40分で完売！
まぼろしの田沢ながいもまつり



美味しいながいもを買い求めようとたくさんの方が訪れました。

11月28日、田沢地域で栽培されている伝統野菜の田沢ながいもを販売する「まぼろしの田沢ながいもまつり」が市立田沢湖病院駐車場で開催（仙北市商工会主催）されました。

この日販売したのは、田沢地域運営体「荷葉」と生産者の田中昭一さん。今年のながいもは天候不良により生産量も減り、短くあまり太くならなかったとのこと。準備した約250本のながいもを約80人が買い求め、40分ほどで完売しました。

秋田市から訪れた女性は「スーパー

で買ったものは、すりおろすと赤くなってしまうが、田沢ながいもは純白のまま。味も濃くておいしい」と、手にしたながいもにうれしそうでした。

また、生産者の田中昭一さんは「昨年の雪の少なさや、5月の大雨で育ちが悪かったと思う。田沢の土は乾くとさらさらするが、雨が影響して乾ききれず土が固くなってしまった。ながいもが伸びていけなかったのかもしれない。ただ、味は今までとおり」と話しました。

11月8日、オンライン審査による「第49回マーチングバンド・バトントワリング東北大会」が行われました。本大会に出場した角館小学校金管バンド部ドリームハーモニーが見事金賞を獲得。またその功績により東北の代表として「第48回マーチングバンド全国大会」へe-Marching Special Edition 2020への出場が決まりました。従来であれば、さいたまスーパーアリーナ（埼玉）での開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインを活用したビデオ審査での講評になります。

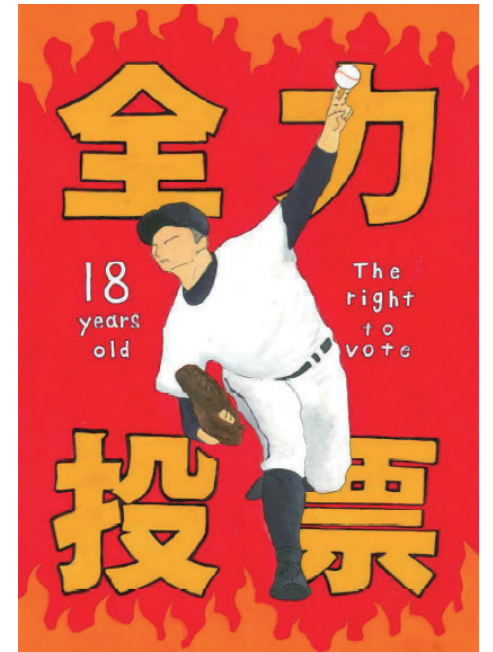
11月20日には、今大会の結果報告が市役所田沢湖庁舎で行われました。部長を務める堀川真緒さんは「東北大会は緊張したが、楽しく演奏することができた」と話してくれました。また、全国大会にむけての抱負を聞くと「東北大会では今まで練習してきたことを魅せることができた。卒業した先輩や先生に色々教えてもらったことを生かし、全国大会にむけて完成度の高いパフォーマンスができるよう頑張りたい」と力強く話しました。

祝！角館小学校金管バンド部 ドリームハーモニー 第48回マーチングバンド 全国大会出場



報告に訪れた（左から）顧問の高橋猛先生、菅原雅人さん、堀川真緒さん、林崎芽由さん、浦山英一郎校長。

門脇さんが描いた選挙啓発ポスター。



また、秋田県審査においては、最優秀賞である「秋田県明るい選挙推進協議会会長賞」も受賞しました。



このポスターコンクールは、全国の児童・生徒に明るい選挙を呼びかける選挙啓発ポスターを描いてもらうことで、主権者意識を高め、明るく正しい選挙を推進することを目的としているものです。門脇さんの作品は、仙北市と秋田県における審査を経て、第3次審査（中央審査）に推薦され、全国8万点を超える応募作品の中から同賞に選ばれました。

令和2年度明るい選挙啓発ポスターコンクール 門脇七海さん（角館高校2年）が受賞

仙北市×あいおいニッセイ同和損害保険(株) 地方創生に関する連携協定を締結

-))) 連携事項
- 1 SDGsの推進に向けた取り組みに関する事。
 - 2 地域・暮らしの安全・安心に関する事。
 - 3 防災・災害対策に関する事。
 - 4 産業振興・中小企業支援に関する事。
 - 5 観光振興に関する事。
 - 6 農業の振興に関する事。
 - 7 その他、地方創生に資する取り組みに関する事。

11月13日、仙北市とあいおいニッセイ同和損害保険株式会社が地方創生に関する連携協定を締結しました。この協定は、SDGs 未来都市として「誰一人取り残さない」を念頭に地域課題へ取り組み仙北市と全国の自治体の取り組みを支援し、地域密着活動を行う同社が連携して、地方創生の実現を目指すものです。



協定を取り交わしたあいおいニッセイ同和損害保険(株)の鶴丸宗久秋田支店長(左)と門脇市長(右)。

同社は10月末現在で全国302の自治体と連携協定を結んでおり、仙北市は県内で9番目になります。協定にもとづき今年度予定している取り組みは二つです。一つは、企業向けのWEB動画セミナーの開催。もう一つは、避難所運営マニユアルが感染症対策を考慮した内容になっているのか診断し、課題について提言いただきます。締結式で、門脇市長は「今年度の取り組みは一つの事例だが、今後も観光振興、農業振興など、巨大な企業の皆さんがパートナーとして地域密着型でご支援いただけることはありがたい」と話しました。また同社の鶴丸宗久秋田支店長は「今日の締結はスタートであり、ゴールではない。仙北市の役に立てるよう、市民の皆さんの安全と発展に貢献できるように取り組んでいきたい」と話しました。

仙北市×ヤマト運輸(株) 連携と協力に関する包括連携協定を締結

11月19日、仙北市とヤマト運輸株式会社が包括的な連携に関する包括協定を締結しました。この協定は、相互の厳密な連携および協働により、物流・人流の活性化、ドローンを活用した物資輸送、災害対策、安心安全な地域づくり、その他市民サービスの向上と地域の活性化を目指すものです。同社とは平成25年8月に「災害時における物資輸送および物資拠点の運営などに関する協定」を締結しており、大規模な災害時の応援協力を図っています。このような関係性の中で、地域の活性化に向けてさらに連携・協力を推進すべき課題に対して協働で取り組むことにより、本協定を締結する運びとなります。



協定を取り交わしたヤマト運輸(株)の杉野真哉秋田支店長(左)と門脇市長(右)。

-))) 連携事項
- 1 物流・人流の活性化に関する事。
 - 2 安全・安心な地域づくりに関する事。
 - 3 広報・魅力発信および観光支援に関する事。
 - 4 資産品の国内外への販路拡大に関する事。
 - 5 災害対策に関する事。
 - 6 地域の福祉に関する事。
 - 7 人材育成に関する事。
 - 8 その他、ヤマトグループと仙北市が協働して取り組む活性化に関する事。

締結式で、門脇市長は「市民にとってはなじみのある企業である。また交通・安全政策にも取り組んでいるヤマト運輸の力を借りて、よりよい地域づくりをしていきたい」と話しました。また同社の杉野真哉秋田支店長は「私たちは皆さまと最高のパートナーになりたい。そのためには今後どうしたらいいかを一緒に考え、共に協働していきたい」と話しました。これからはそれぞれが有する人的・物的資源を有効活用することで、地域のさまざまな課題に対応し、地域社会の活性化や市民の安心・安全な暮らしの確保に取り組めます。